

事例24 思考展開シート

(1) 疾病や薬の副作用等の影響は考えられますか？

- ・以前より膝関節痛があり、腰椎椎間板ヘルニアの診断。(発症時期は不明)
- ・1年前に胃潰瘍で入院(出血十二指腸潰瘍、胆石症も併発)しており、高齢のこともあって温存療法で完治。
- ・3年前に多発性脳梗塞と診断された。認知症は進行している。
- ・精神面の安定を図る目的で、チアラリードを夕に服用、又アトビー性の皮膚乾燥があり全身の痒みがある。かゆみ止めの薬を服用。その為か日中傾眠が多い。しかし、傾眠はチアラリードの服薬以前から見られていた。

【質問】傾眠傾向については以前からとのことですが、このことに関して他の薬剤等の影響は考えられますか？

【回答】・現在服用している向精神薬に眠気を催すものがある。その影響も多少考えられるが、服用以前から傾眠は同じであった。(もっと早く、ケアハウスにいた頃から。入居時には、食事以外は臥床していた。)

(2) 身体的痛み、便秘・不眠・空腹等による苦痛の影響は考えられますか？

- ・本人がクリアな状態の時は、痛みがある箇所を事細かに訴える。(膝から足のつま先まで電気が走ったようだ等)
- ・夜間帯の入眠時間は十分とれてはいるが、中途覚醒があり(トイレのため等)再入眠するまでに訴え続けることが多々ある。
- ・食後すぐに空腹の訴えがあり、本人に説明するも納得してもらえない。また、朝方、中途覚醒と同時に空腹の訴えが多い。胃に負担が少なく、朝食にも影響が無いもの(果物やヨーグルト等)を提供するも、ほとんど効力は発揮せず、空腹の訴えが続く。

【質問】一度覚醒して再入眠する際のAさんは、どんな感覚や感情、気持ちを持っていると考えられますか？

- 【回答】・入眠中は寝言が多く、目が覚めても夢と現実が混同しているのでは？
- ・ベッド上でも自力で思うように体動が出来ない。中途覚醒し部屋に誰もいないと不安なのではないか。
- ・時間の失見当(現在の場所・自分の年齢)から状況が判断できない。

(3) 悲しみ・怒り・寂しさ等の精神的苦痛、また本人の性格等の影響は考えられますか？

- ・他者に指摘されると更に大きな声で訴え続けたり、「うるさい。」など怒鳴り返すこともある。
 - ・もともと寂しがり屋で、夜間、自室に一人であることを寂しく感じる「ここにいてよ。」等。
- 【質問】もともと一人暮らしが長かった方だと思いますが、そのことが何か影響していると思いますか？また、何故「寂しがり屋」だと考えたのでしょうか？

【回答】・終戦後より行政機関に勤務しており、プライドを持って多くの人と交流し、自由奔放に生活していた。老年になって妹の住む当地へ越してきた。当地に知人は誰もいない。他の兄弟との交流もなく訪れる人もいない。

【質問】一人ということは、どんな心持ち、感情、感覚なのでしょう？共同生活をしている場所で、それでも一人と感ずるのは何故なのでしょう？

【回答】・他人居者には家族や知人の面会があるが、本人には妹以外の面会や連絡もほとんどない。妹も高齢であり、自分のことで精一杯。ホーム側が面会を願ひし、自宅までの送迎を行い、ようやく面会に来ていただける状況。深夜に大声で母の名を寝言で呼び目覚めることもある。

(4) 音・光・味・臭い・寒暖等感覚的な苦痛を与える刺激の影響は考えられますか？

- ・食事に関しては、自分から美味しい等の表現はしないが(聞いたら答える)、主食(ご飯)が大好きで残すことはない。副食になると食材に関係なく残すことが多々ある。(スタッフの声かけにより完食出来る。また、それでも残す場合は、スタッフに自分の意思をしっかりと表現する。)
- ・若い頃から歯がなく、義歯を作っても拒否。早食いでムセがある。

【質問】食事中は痛みなどの訴えは無いのでしょうか？

【回答】・食事やおやつ中は全くない。配膳も待ち切れず食べてしまったり、時には他者の食べ物も取ってしまうことがある。黙々と摂取する。本人にとって都合が悪いような話になると「痛い、こわい。」と訴える場面が見られる。

【質問】認知症の進行状態で、食事の理解、主食と副食の区別や「食べ方」の理解が低下しているのでしょうか？それともそのあたりは本人がまだしっかり理解しているのでしょうか？また、「早食い」は現役時代の職業柄なのでしょうか？

【回答】・主食や副食は理解している。副食を残す理由は、本人の中で、食事はご飯、味噌汁、梅干しがあれば良いという考え方なので、わざわざ副食に手をつけようとはあまり思わないようである。

・早食いに関しては、現在ある資料からは確認できるものはないが、本人はいつから早食いになったのかは覚えていないらしく、職業も関係ないとのことである。(本人から確認)しかし、これまで数十年間、自分の歯が1本もない状態で義歯は絶対に拒否。お粥や柔らかい食べ物を丸飲みのように、これが習慣になっている可能性がある。

本人の言葉や状態 ワークシートC- に書いた、本人の言葉や行動を書き出し、関連のありそうな情報を整理してみましょう。

- ・「痛い、足が痛いんだ。」居間で、又自室で言う。
- ・トイレから帰る際に休むことで足が楽になる。「ソファで休んだら楽だね。」ふらつき、バランス不良、パーキンソン様の歩行の為、1人での歩行は困難。
- ・足のつま先からびーって電気が走るんだ。」
- ・「あーもう！うるさい！！」「俺にかまうな。」
- ・夜間、トイレの希望にスタッフが訪室すると「行かない。」と言ったり狸寝入りをしていることもある。
- ・5分前にトイレに行ったらばかりでも、頻回にトイレの訴えがある時もある。
- ・「つらい、身体が辛い。」平均体重をオーバーしており、体形は大柄。散歩などの身体を動かす活動を拒否する場合にも聞かれる。
- ・食後すぐに大きな声で「腹減ったー、ご飯ー。」「ご飯まだかい？」(歯がなく、義歯を作っても拒否。食事は早食い。)

(5) 家族・介護者など周囲からの過剰、あるいは少なすぎる関わりの影響は考えられますか？

- ・独身の為、家族はいない。3人程兄弟はいるが、妹一人以外は同県内には住んでいない為、顔を合やすことはない。近くに在住している妹も、半年に一回程度、ホームに顔を見せる程度である。(妹も高齢)
- ・本人から「通帳が気になるから電話して見て。」など会いたそうな発言も聞かれることがある。
- ・スタッフに関しては、本人から直接的な言葉で「ちょっと来て・ここにいてよ。」などの訴えがある。また夜勤者の女性スタッフにセクハラ行為も見られている。
- ・女性利用者から頻回に注意を受けている。

【質問】妹の訪問時は本人はどんな様子で、またどんな会話やお話があるのでしょうか？

【回答】・妹が来たからと言って特にテンションが高くなったり等はないが、顔を見ると目を見開いて「おーちゃん来たのかあ。」と軽い反応。

・それほど2人で会話することもなく、本人からはお金に関する話が多く、これを妹は嫌う。基本的に妹が一人で一方的に話しているのが現状である。

【質問】セクハラ行為というのは具体的にどのような行為なのでしょう？また男性スタッフへの同様の行為はありますか？

【回答】・男性スタッフには全くありません。また女性スタッフも全員ではなく何人かに限られています。セクハラの詳細に関しては「手を舐めさせてほしい。」「チューさせて。」などの言動が聞かれたり、行動に関しては起き上がりや立ち上がりの介助時に、想像以上の力で抱きしめる。また特定の女性スタッフに結婚の申し込みをして、自分が婚約者だと思ひこみ、ともに業務をしている男性スタッフへ嫉妬心をもって激しく問い詰めることもあった。

(6) 障害程度・能力の発揮に対して、住まい・器具・物品等物的環境による影響は考えられますか？

- ・自分で歩行することは難しいうえ、自分の要望を的確に伝えられず、ストレスになっているのか？
- ・自由に行動ができないことから、居間と居室で過ごしている時間が多い。
- ・ソファに座っていると、どんどん姿勢が崩れてくる。自分で姿勢を修正できない。
- ・椅子から立ち上がり転倒している

【質問】「自分の要望が的確に伝えられない」ということによって、本人はどんな感情や気持ちを抱えていると思いますか？また、そのことによって本人は「どうしたい」と感じ、あるいは考えていると思いますか？

【回答】・「もういい。」等の言動からして、苛立ちを抱えていると思われる。そのことによって本人はどうしたいと思うより、面倒だからこれ以上どうしようとは考えていないような気もする。その理由に「もういいんだ。」や「うるさい静かにしてよ。」と、放っておいて欲しいような言動が聞かれる。

(7) 要望・障害程度・能力の発揮と、アクティビティ(活動)とのズレによる影響は考えられますか？

- ・これまでの生活歴からマイペース(自由・気まま)な暮らし方が見える。
- ・その時の気分や状況に素早く対応がなされない現状もある。
- ・集中力が欠ける。
- ・体重が重く(10kgはオーバー)体も重く、非活動的？

【質問】「自由・気まま」な暮らし方は、別な見方をしたらどんな暮らし方になると考えますか？また、本人にとっての「自由・気まま」な暮らし方とは具体的にどんな暮らし方だと思いますか？

【回答】・本人にとって自由、気ままな暮らし。家事、洗濯は誰かが(ケアハウス以前は母親)やってくれるといった以前の生活や、ケアハウスでの生活だと思ふ。

・年齢の失見当があり、その生活が今も続いているかのような錯覚を感じている時もある。(若い女性スタッフに結婚を申し込む等)

(8) 生活歴・価値観等に基づいた暮らし方と、現状とのズレによる影響は考えられますか？

- ・もともと活動意欲は無いらしく、一人暮らしをしている時も掃除など身の周りのことはしていない。ケアハウスに入居してから変わらず、保清も保たれず、介護者や妹が身の周りのことをしていた。
- ・当ホームに入所してからは、本人が好む活動を行うことで行動範囲が広がった。しかし、今までの生活とは真逆とも言える生活なのか、活動の声かけ次第で拒否も目立つ。

【質問】「本人が好む活動」というのは具体的にはどんな活動なのでしょう？

【回答】・買ひ物の荷物を運ぶ。牛乳パックを切る。(スタッフを助けている感覚)音楽療法士への挨拶。(入居者代表の感覚)運動の「1・2」掛け声。(リーダー感覚)

【質問】本人が進んでしようとしてこなかった行為(活動)は、いわゆる家事全般についてだけなのでしょうか？それともそれ以外の趣味や日常生活上の様々な行為についても思ひなかつたのでしょうか？

【回答】・読書やテレビの視聴、大型犬を飼っていたことがある。家事等に関しては母親が行っていた。

・家事は自分ですることがなかった。